

# 遺伝子組換え食品に関する消費者意向調査の概要

## 調査概要

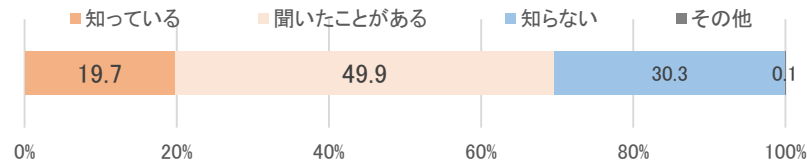
目的: 消費者の遺伝子組換え食品やその表示に関する意識を把握するため、ウェブでのアンケート調査を実施。

期間: 平成28年12月12日～平成29年1月4日、委託先: 株式会社アイデア・プロジェクト、回答者: 10,648名(男性: 5,296名、女性: 5,352名)

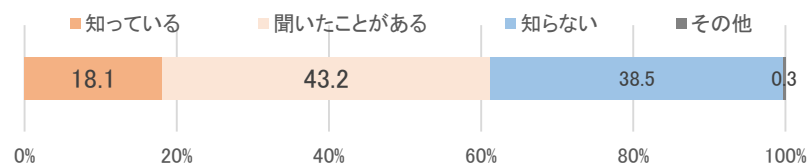
## 不安感

- 「組換えDNA技術」に関する認知度は7割、「安全性審査」に関する認知度は6割

### 【組換えDNA技術の認知度】

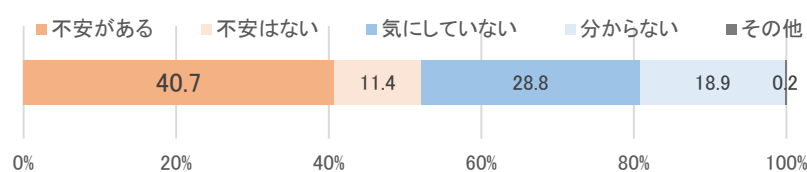


### 【安全性審査の認知度】



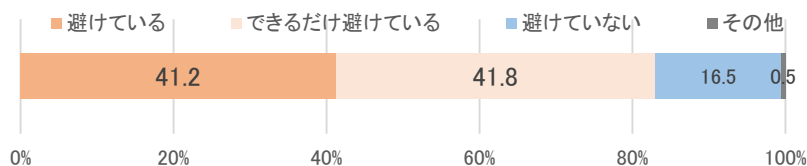
- 遺伝子組換え食品に不安があるかについては、「不安がある」が4割

### 【遺伝子組換え食品に対する不安感】



- 遺伝子組換え食品について「不安がある」、「不安はない」と回答した者のうち、8割以上は遺伝子組換え食品を忌避

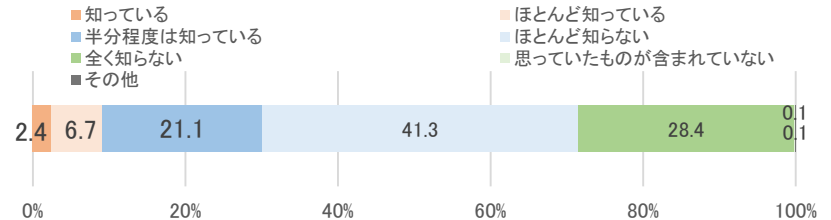
### 【遺伝子組換え食品の忌避状況】



## 対象品目

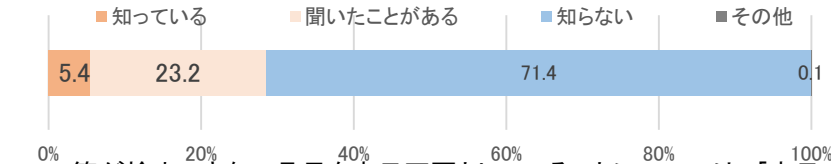
- 表示義務対象品目に関する認知度は、「半分程度は知っている」を含め3割

### 【表示義務対象品目の認知度】



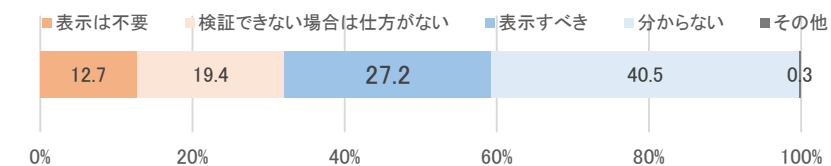
- DNA等が検出できない品目を表示不要としていることに関する認知度は、3割

### 【表示不要品目の認知度】



- DNA等が検出できない品目を表示不要としていることについては、「表示すべき」が3割

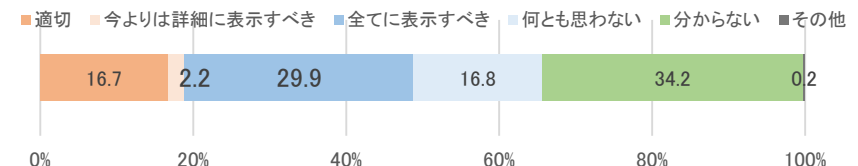
### 【表示不要の妥当性】



## 主な原材料

- 表示義務の原材料については、「表示義務を拡充すべき」が3割

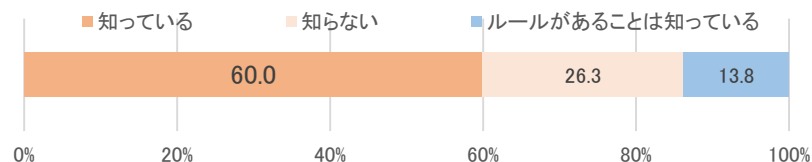
### 【主な原材料のみ表示義務の妥当性】



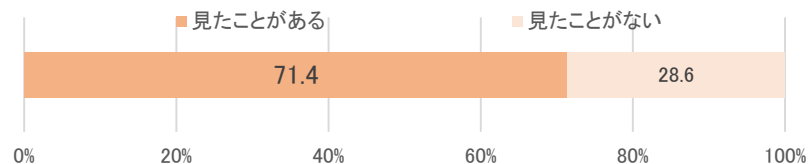
表示方法(遺伝子組換えでない(Non-GM))

- 「遺伝子組換えでない」旨の表示に関する認知度は6割、実際に「見たことがある」割合は7割

【遺伝子組換え表示の認知度(Non-GM)】

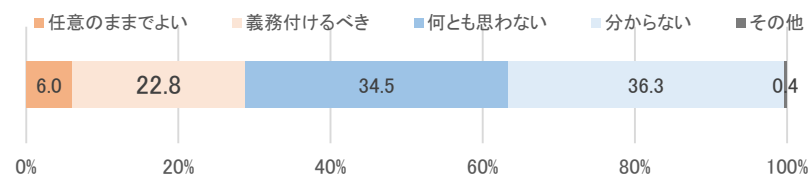


【遺伝子組換え表示を見たことがあるか(Non-GM)】



- 「遺伝子組換えでない」旨の表示を「義務付けるべき」は2割

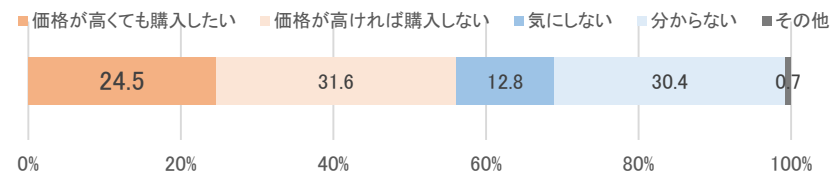
【Non-GM表示の取扱】



その他

- 遺伝子組換えでない農産物のみを原材料とした食品については、「価格が高くても購入したい」が3割弱

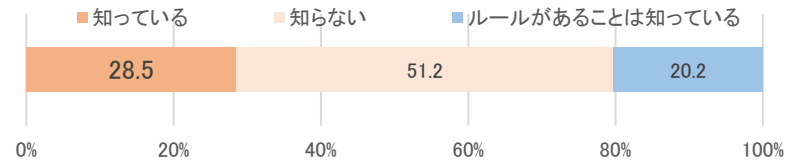
【Non-GM食品であれば価格が高くても購入するか】



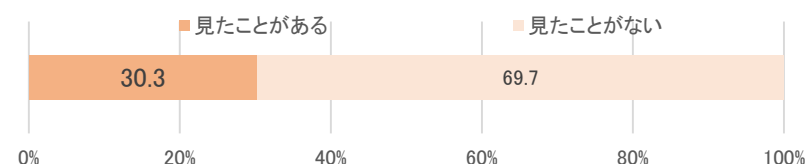
表示方法(不分別)

- 「不分別」である旨の表示に関する認知度は3割、実際に「見たことがある」割合は3割

【遺伝子組換え表示の認知度(不分別)】



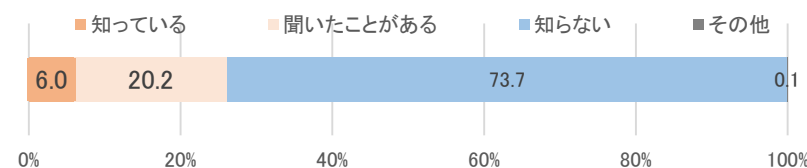
【遺伝子組換え表示を見たことがあるか(不分別)】



混入率

- 意図せざる混入率5%を認めることについての認知度は3割弱

【意図せざる混入率の認知度】



- 混入率5%については、「引き下げるべき」が2割弱

【意図せざる混入率の妥当性】

